

2019 年度鳥取大学大学院連合農学研究科(博士課程)
菌類きのご資源利用科学特別プログラム(博士後期課程)
編入学生募集要項

鳥取大学大学院連合農学研究科は、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科、島根大学大学院自然科学研究科及び山口大学大学院創成科学研究科の農学系専攻の修士課程と附属施設を母体として編成され、各構成大学の研究科と密接な連携協力のもとに運営されている。

菌類きのご資源利用科学特別プログラムは、鳥取大学大学院持続性社会創生科学研究科農学専攻（博士前期課程）から継続して菌類きのご資源科学に関する研究を行う外国人留学生を受け入れるプログラムである。2019 年度には特例的に、博士後期課程から受け入れる編入学生(国費留学生)を下記により募集する。

I. 目的

菌類きのご資源利用科学特別プログラムは、菌類きのご資源利用科学に特化した高度な教育と研究を行うことにより、菌類きのご資源利用科学研究を推進することのできる人材養成を図る。

II. 専攻分野及び募集人員

1. 専攻分野：菌類きのご資源利用科学に関する研究分野で、鳥取大学大学院連合農学研究科の主旨指導教員予定者に研究指導が受けられる者であれば、何れの分野であってもよい。
2. 募集人員：大学推薦による国費外国人留学生（日本政府（文部科学省）奨学金留学生） 3名
（注）国費外国人留学生については、応募者の中から候補者を選考し、文部科学省へ推薦する。

III. 出願資格及び条件

- (1) 国籍：日本国政府と国交のある国のものを有し、新たに海外から留学する者（日本国籍を持つ者は除く。）
- (2) 年齢：1984年4月2日以降に出生した者
- (3) 学歴：修士の学位を取得した者又は2019年9月までに取得見込みの者
- (4) 健康：心身ともに大学院における学業に支障がないこと。
- (5) 語学力：研究指導等は主として英語で行うことから、英語能力が十分であること。
- (6) 渡日時期：2019年10月1日から10月7日までに必ず渡日可能な者
- (7) 査証取得：渡日時に「留学」の査証を必ず取得していること。
- (8) 鳥取大学（構成大学を含む。）との大学間交流協定に基づいて大学から公式に推薦を受けた者、又は鳥取大学（構成大学を含む。）との交流実績のある大学の学長又は部科長相当以上の者から公式の推薦を受けた者であること。
- (9) テレビ会議システム等を用いて、対面式により、口頭試問委員による口頭試問を受けることができる者
- (10) その他：次に掲げる者については推薦しない。
 - ① 現役軍人又は軍属の資格の者

- ② 指定の期日に渡日できない者
- ③ 過去に国費外国人留学生であった者で、その奨学金支給期間終了から3年間経過していない者
- ④ 日本政府（文部科学省）以外の機関（自国政府機関含む。）から奨学金等を受給する者
- ⑤ 本奨学金における他大学との重複申請、日本政府（文部科学省）及び（独）日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度と併給する者。（これまで日本政府（文部科学省）及び（独）日本学生支援機構が実施している留学生を対象とした支援制度により採用され、引き続き、2019年度の10月期の学期以降も在籍、または在籍予定の者も含む。）
- ⑥ 2019年度に私費外国人留学生として本邦大学に在籍予定の者
- ⑦ 直近の2年間の学業成績が文部科学省の定める水準を満たさない者。（詳細については、主指導教員予定者に確認すること。）
- ⑧ 海外でのインターンシップ、フィールドワーク等を希望する者
- ⑨ 学位（修士）取得見込みで出願した者で、2019年9月までに取得できない者は、採用を取り消す。
- ⑩ 申請時に二重国籍者で、渡日時までには日本国籍を離脱したことを証明できない者
- ⑪ 学位取得を目的としない者

IV. 応募手続

応募者は、下記の書類を2019年1月18日（金）から1月31日（木）の間に、希望主指導教員を通して鳥取大学農学部連大学務係に提出すること。

- (1) 2019年度鳥取大学大学院連合農学研究科菌類きのこ資源利用科学特別プログラム（国費外国人留学生）入学願書（様式第1号） 正本1部
- (2) 日本政府（文部科学省）奨学金留学生申請書 正本1部（両面印刷）
- (3) 専攻分野及び研究計画（別紙） 正本1部
- (4) 健康診断書（最近6か月以内に受診したもの） 正本1部
- (5) 誓約書（所定の様式） 正本1部
- (6) 志願理由書（英文により1,200語程度で記載し、所定の表紙（様式第3号）を付けること） 正本1部
- (7) 最終出身大学院の修了証明書及び学位記又は修了見込証明書 正本1部
- (8) 最終出身大学院の成績証明書（出身大学の発行したもの。英語以外のものは英文訳を添付） 正本1部
- (9) 最終出身大学院において最上位クラスに属することを証明する学業成績 [例、GPA、ABCのクラス分け、具体的な順位（何人中第何位）等、最終出身大学における成績が明確に判る指標を明記したもの] 正本1部
- (10) 修士論文等
 - (A) 修士課程修了者
 - (a) 修士論文の写（論文がない場合は、これに代わるもの） 写し1部
 - (b) 修士論文の概要（A4用紙に、英文により1,200語程度で記入。所定の表紙（様式第4号）を使用）。 正本1部

(B) 修士課程修了見込みの者

- (a) 研究経過報告書 (A4 用紙に、英文により 5,000 語程度で記入(図表を含む)) 正本 1 部
(b) 研究経過報告書の概要 ((A)-(b) に準じて作成、所定の表紙(様式第 4 号)を使用) 正本 1 部
- (11) 本人の戸籍身分を証明する書類 (例えば、パスポートや本国の戸籍謄本) 写し 1 部
- (12) 所属大学等の研究科長レベル以上の推薦状 (鳥取大学学長あてのもの) 正本 1 部
- (13) 個人推薦書(申請者と個人的交流があり、さらに申請者の教育研究に対して保証できる指導教授又はそれに準ずる責任ある教員からの推薦書)(様式は A4 版で任意とする。) 正本 1 部
- (14) TOEFL、TOEIC、IELTS、国連英検、ケンブリッジ英検、実用英語技能検定試験等のいずれかの英語能力を客観的に示す成績証明書 写し 1 部
(上記以外の英語能力を証明する成績証明書を提出しようとする者は、願書出願前に連大学務係へ相談すること。)
- (15) 日本政府(文部科学省)奨学金留学生申請書の項目 14 に記載した著書、論文等のコピー 各 1 部
- (16) 写真(最近 6 か月以内に撮影したもので、上半身、正面、無帽、裏面に国籍及び氏名を記入し、1 枚(4.5cm×3.5cm)は入学願書に、2 枚(4.5cm×3.5cm)は日本政府(文部科学省)奨学金留学生申請書の所定の場所に添付のこと。)

【注意事項】

- ① 申請書類は、すべて英語により出来るだけタイプを用いて作成すること。申請書類は連合農学研究科ホームページ(<http://rendai.muses.tottori-u.ac.jp/japanese/recruit/index.html>)よりダウンロードが可能である。
- ② 上記申請書がすべて完全かつ正確に記載されていない場合、付属書類が完全に揃っていない場合、又は提出期限が過ぎたものについては受理しない。
- ③ 応募者は、テレビ会議システム等を用いて、対面式により入学試験(口頭試問)を受けること。
- ④ 提出書類の返却はしない。
- ⑤ 応募者は、2019 年度鳥取大学大学院連合農学研究科菌類きのこ資源利用科学特別プログラム入学願書に希望する主旨指導教員名を記入すること。入学願書に主旨指導教員名の記入がない場合には受理しない。また、応募者は主旨指導教員予定者と密接な連絡をとり、研究計画(IV-(3))を作成すること。
- ⑥ 国費外国人留学生(研究留学生)に応募した後は辞退できない。

V. 試験日程

2019年2月15日(金)～2019年2月28日(木)

VI. 奨学金等

- (1) 奨学金支給期間：国費外国人留学生は、2019年10月から2022年9月までの3年間
- (2) 奨学金：月額145,000円(変更する場合がある)を支給する。
- (3) 授業料等：入学検定料、入学料及び授業料は徴収しない。
- (4) 旅費
 - ① 渡日旅費：文部科学省は、渡日日程及び経路を指定して、渡日する留学生の居住地の最寄りの国際空港*から鳥取大学大学院連合農学研究科構成大学が通常の経路として日本国内で使用する

最寄りの国際空港までの下級航空券を交付する。なお、渡日する留学生の居住地から最寄り国際空港*までの国内旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、日本国内の旅費(航空機の乗り継ぎ費用を含む)、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とする。(「留学生の居住地」は原則として申請書に記載された現住所とする。)

- ② 帰国旅費：奨学金支給期間終了月内に帰国する者については、本人の申請に基づき、鳥取大学大学院連合農学研究科構成大学が通常の経路として使用する国際空港から当該留学生が帰着する場所の最寄りの国際空港*までの下級航空券を交付する。帰国する留学生の日本での居住地から最寄り国際空港までの国内旅費、空港税、空港使用料、渡航に要する特別税、国籍国内の旅費(航空機の乗り継ぎ費用を含む)、携行品・別送手荷物に関わる経費等は留学生の自己負担とする。

*原則として、留学生が国籍を有する国の空港に限る。

(注) 渡日及び帰国旅行の際の保険金は、自己負担とする。

(注) 奨学金支給期間終了後、引き続き日本に滞在し、一時帰国する際の帰国旅費は支給しない。

- (5) ① 学生教育研究災害傷害保険制度：この保険は学生の正課中及び課外活動(キャンパス内)中における不慮の災害事故によって、身体に傷害を被った場合の補償制度であり、全員加入している。保険料は、3年間分で2,600円である。
- ② 留学生用保険(タイプB)：この保険は、(1)他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊した場合、(2)ケガや病気で3日以上入院して、ご家族が駆けつけたときの交通費や宿泊費の支払いを補償する保険である。(学研災と異なり、補償の時間帯や場所についての限定はない)
- 保険料(3年間)：4,680円

【注意事項】

- ① 医療費補助制度：日本の医療制度の一つに、国民健康保険制度がある。この制度は医療費の一部を負担する。居住地の市役所で国民健康保険の加入手続きをすることにより医療費の自己負担額は、治療費の30%となる。(例外有り)

VII. 推薦のための選考

- (1) 入学者選抜は、口頭試問、提出書類の評価等を総合して行う。
- (2) 口頭試問は、3名以上(主指導教員予定者を含む各構成大学から1名以上)の口頭試問委員がテレビ会議システム等を用いて、対面式により、修士論文等の内容及び研究計画書を中心に50分程度(内容説明：30分程度、質疑その他：20分程度)実施する。
- (3) 口頭試問の実施方法について、主指導教員予定者が「口頭試問実施方法届」(様式第12号)を出願時に研究科長に提出し、代議委員会にて口頭諮問実施方法の承認を得なければならない。
- (4) 文部科学省は、鳥取大学から推薦された候補者を審査のうえ外国人留学生としての採用を決定する。
- (5) 結果は、文部科学省の決定に基づき、8月上旬までに本人に通知する。

VIII. 研究指導

- (1) 研究指導等は主として英語で行う。

- (2) 3年間で博士(農学)の学位を取得すること。
- (3) 在籍身分は正規の大学院生である。学生は構成大学の教員(主指導教員1人及び副指導教員2人)により研究指導を受ける。学生は、主指導教員が専任として在籍する構成大学に配置され、研究指導を受けるが、他の構成大学の施設・設備を利用することができる。

IX. 注意事項

- (1) 国費外国人留学生は次の場合には、原則として奨学金の支給を取り止められる。
 - ① 提出書類に虚偽の記載があることが判明したとき。
 - ② 文部科学大臣への誓約事項に違反したとき。
 - ③ 日本の法令に違反し、無期又は一年を超える懲役若しくは禁固に処せられたとき。
 - ④ 大学において、懲戒処分を受けたとき又は除籍となったとき。(なお、大学において処分を決定するまでの間、奨学金の支給を止めることもある。)
 - ⑤ 大学において、学業成績不良や停学、休学等により標準修業年限内での修了が不可能であることが確定したとき。
 - ⑥ 在留資格「留学」が他の在留資格に変更になったとき。
 - ⑦ 日本政府(文部科学省)以外の機関(自国政府機関含む。)から奨学金等(使途が研究費として特定されているものを除く。)を受給したとき。
 - ⑧ 当該大学院を退学したとき又は他の大学院に転学したとき。
- (2) 留学生が休学又は長期に欠席した場合は、その期間中奨学金は原則として支給しない。
- (3) 提出書類等の記載事項に虚偽の記入がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。
- (4) 留学生は渡日に先立ち、日本の風土、習慣、気候、大学の状況についてあらかじめ研究しておくことが望ましい。また、日常生活は日本語での生活になることについて十分理解しておくこと

【問い合わせ先】

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学大学院連合農学研究科(農学部連大学務係)

TEL : 0857-31-5446 FAX : 0857-31-5683 E-mail : ag-rengaku@adm.tottori-u.ac.jp

【構成大学の所在地】

鳥取大学

〒680-8553 鳥取市湖山町南 4-101 鳥取大学農学部

TEL : 0857-31-5446 FAX : 0857-31-5683

島根大学

〒690-8504 松江市西川津町 1060 島根大学生物資源科学部

TEL : 0852-32-6492 FAX : 0852-32-6499

山口大学

〒753-8515 山口市吉田 1677-1 山口大学農学部

TEL : 083-933-5800 FAX : 083-933-5820

List of Major Supervisors and their Research Interests

The United Graduate School of Agricultural Sciences offers doctoral programs in the following four major courses : Bioproduction and Bioenvironmental Sciences ; Bioresources and Life Sciences and Global Dryland Science. Each course contains one to four Divisions ; and each Division offers basic and applied research programs. Faculty members (Professors and Associate Professors who serve as Major Supervisors) and their active research programs are listed below.

1. THE COURSE OF BIOPRODUCTION AND BIOENVIRONMENTAL SCIENCES

(a) Division of Agricultural Production Science

Toshiki ASAO (SN)	Vegetable and Ornamental Science	Production of vegetables and ornamentals
Katsumi OHTA (SN)	Horticultural Plant Science	Studies on growth control in horticultural plants
Ichiro KITA (SN)	Water and Vegetation use Planning	Water use planning and management, and improvement by vegetation
Nobuo KOBAYASHI (SN)	Horticultural Breeding	Evaluation of plant genetic resources and applications for breeding
Donghe XU*(TT)	Plant genetic resources	Genetic studies on environmental stress tolerance in crops
Tadashi TAKAHASHI (YG)	Crop Science	Establishment of low-cost and low-input crop cultivation systems
Fumio TAMURA (TT)	Physiology of Fruit Trees	Studies on the control of endodormancy in Japanese pears
Akira NAKATSUKA (SN)	Molecular Breeding of Horticultural Crop	Molecular breeding for agriculturally useful traits in horticulture crops
Yoshimichi FUKUTA*(TT)	Crop Breeding and Genetics	Breeding sciences for diversity, differentiation, and genetic mechanism for agricultural traits in rice
Shingo MATSUMOTO (SN)	Biochemistry of Soil and Plant Nutrition	Studies on the mechanism of plant nutrient acquisition in relation to soil fertility
Toshikazu MATSUMOTO (SN)	Fruit science	Studies on fruit growing and processed food
Akira YANO (SN)	Bioenvironmental Electrical Engineering	Application of electrical engineering to bioenvironmental technologies
Haruhiko YAMAMOTO (YG)	Environmental Information Science	Growth diagnosis of plant canopies by optical measuring methods

Abbreviations; TT : Tottori University, SN : Shimane University, YG : Yamaguchi University.

* ; Cooperation with Japan International Research Center for Agricultural Sciences

(b) Division of Managerial Economics

Yasuhiro ITO (SN)	History of Fisheries	Study on history of agricultural, fisheries and rural problems in modern Japan
Norikazu INOUE (SN)	Farm Management	Farming practices and resource management on farm businesses
Makoto NOHMI (TT)	Rural Economics	Development and application of regional analysis methods
Toshinobu MATSUDA (TT)	Economics of Consumer Behavior	Empirical analysis of consumer behavior, especially food demand
Ichizen MATSUMURA (TT)	Farm Management	Studies on the relationship between farm management and rural society

Li WAN (TT)	Marketing Information Analytics	Agricultural products distribution channels and econometric analysis of market information
Kumi YASUNOBU(TT)	International agricultural development studies	Agricultural and rural development in Southeast Asia

(c) Division of Forest and Watershed Environmental Sciences

Masayuki ISHII (SN)	Regional infrastructure Engineering	Development of designing method for renovation of irrigation facilities
Katsuhisa ITO (SN)	Forest Policy	Forests, forestry and less-favored area problems and policy
Tomoyuki KUWABARA (SN)	Water Environmental Conservation	Studies on conservation and restoration of water environment, and purification of waste water and environmental water
Ikuo TAKEDA (SN)	Water Quality and Hydrology	Evaluation and control of nonpoint sources in watersheds
Nobuo TSURUSAKI (TT)	Animal Taxonomy	Biodiversity, chromosomes, evolution, and conservation of land invertebrates
Ryota NAGASAWA (TT)	Landscape Ecology	Landscape ecological analysis on the physical and human environment in mountainous regions
Dai NAGAMATSU (TT)	Plant Ecology	Population dynamics of forest and grassland, vegetation science and biodiversity conservation.
Yoshiyuki HIOKI (TT)	Conservation and Restoration Planning of Ecosystem	Ecological planning and engineering for conservation and restoration of biodiversity
Takaaki FUJIMOTO(TT)	Wood physics	Analysis of wood property variation, and development of measurement techniques
Hiroshi YAJIMA (SN)	Environmental Fluid Dynamics	Water environment and hydrodynamics in a water body

(d) Division of Environmental Bioscience

Futoshi ARANISHI (SN)	Genetic Ecology	Molecular evolutionary, ecological and conservative genetics of aquatic organisms
Kazuhito ITOH (SN)	Soil Microbiology	Plant- microbe interaction
Shinichi ITO (YG)	Plant Pathology	Functional genomics of plant pathogens
Makoto UENO (SN)	Plant Pathology	Studies on the expression of resistance in plant-microbe interaction
Hironori KAMINAKA (TT)	Plant-Microbe Interactions	Molecular mechanisms of immune response and mycorrhizal symbiosis in plants
Junichi KIHARA (SN)	Plant Pathology	Photoresponses of the phytopathogenic fungi
Motoichiro KODAMA (TT)	Plant Pathology	Molecular mechanisms in plant-microbe interactions and plant disease resistance
Yoko TAKEMATSU (YG)	Ecological Entomology	Biodiversity and ecology of termites
Ryoichi MIYANAGA(SN)	Insect Ecology	Biology and management of wild bees
Keiko YAMAGUCHI (SN)	Aquatic Ecology	Studies on ecology of benthic animals and aquatic environments

2. THE COURSE OF BIORESOURCE AND LIFE SCIENCES

(a) Division of Fungus and Mushroom Sciences

Tadanori AIMI (TT)	Biochemical Technology of Microorganisms	Biochemistry, molecular biology and biotechnology of microbial production
Norihiro SHIMOMURA (TT)	Mushroom Breeding and Cultivation	Studies on breeding and cultivation of mushroom resources
Akira NAKAGIRI (TT)	Fungal Biodiversity	Taxonomy, ecology and evolution of fungi adapted to aquatic habitats
Nitaro MAEKAWA (TT)	Mushroom Taxonomy and Ecology	Biodiversity and ecological function of mushrooms

(b) Division of Bioscience and Biotechnology

Kazuhiro AKAMA (SN)	Plant Molecular Biology	Study on regulatory mechanism of tRNA gene expression and physiological function of γ -aminobutyric acid in plants
Masaaki AZUMA (TT)	Molecular Entomology	Molecular analysis of insect cell functions and their application to insect control
Jiro ARIMA (TT)	Bio-Functional Chemistry	Functional analysis of enzymes and microorganisms, and their application to industry
Takahiro ISHIKAWA (SN)	Plant Molecular Physiology	Biosynthesis pathway of antioxidants and metabolism of reactive oxygen species in photosynthetic organisms
Makoto KAWAMUKAI (SN)	Genetic Engineering	Signal transduction, cell cycle control and biosynthesis of coenzyme Q in yeasts
Akihiko KOSUGI* (TT)	Applied Microbiology	Development of biomass utilization technology using microbial functions
Yuuki KODAMA (SN)	Symbiotic biology	Elucidation of the mechanism that establishes endosymbiosis between the <i>Paramecium bursaria</i> and <i>Chlorella</i> spp.
Takahiro SHIOTSUKI (SN)	Insect Chemical Biology and Agrobio-Regulators	Chemical biology and molecular mechanisms in regulation of insect development and their applications
Tsuyoshi NAKAGAWA (SN)	Plant Molecular Genetics	Molecular mechanisms of plant development and technology for analysis of plant genes
Akio NISHIKAWA (SN)	Developmental Biology-Animal	Studies using amphibian about cell growth, differentiation, apoptosis, and morphogenesis
Jun'ichi MANO (YG)	Mechanisms of Environmental Stress-tolerance in Plants	Elucidation and application of plant tolerance mechanisms against abiotic environmental stresses
Takanori MARUTA (SN)	Plant physiology	Redox metabolism network and stress response in plants

(c) Division of Applied Bioresource Chemistry

Hiroyuki AZAKAMI (YG)	Molecular Microbiology	Molecular mechanisms of bacterial colonization to host surface
Atsushi ISHIHARA (TT)	Natural Product Chemistry	Function, Biological activity, and Biosynthesis of metabolites produced by plants and microorganisms
Tsuyoshi ICHIYANAGI (TT)	Organic Chemistry	The molecular design and functional analysis of bioactive compounds
Tsuyoshi KAWANO (TT)	Bioorganic Chemistry	Regulation of diapause, metabolism and longevity corresponding to the growth environment
Hidehisa SHIMIZU (SN)	Nutritional Pathophysiology	Study on the relationship between food-derived bacterial metabolites or cyanobacteria-derived toxins, and pathogenesis of diseases
Jun-ichi TAMURA (TT)	Organic Chemistry	Chemical synthesis of bioactive glycans and isolation/characterization of natural glycans

Kaeko MUROTA (SN)	Bioavailability and Food Function	Bioavailability and physiological function of lipophilic food factors
Tatsuyuki YAMAMOTO (SN)	Bio-molecular spectroscopy	Spectroscopic studies on life science and medical applications
Kazushige YOKOTA (SN)	Biochemistry and Molecular Cell Biology	Molecular cell biology of food and related substances involved in bioinformation, nutrition, and health
Fumio WATANABE (TT)	Food Science	Chemistry and nutrition of vitamin B12 and related compounds in food

3. THE COURSE OF GLOBAL DRYLAND SCIENCE

(a) Division of Global Dryland Science

Kinya AKASHI (TT)	Molecular and Cellular biology	Molecular responses of drought-tolerant plants and their application to molecular breeding
Nigussie Haregeweyn AYEHU (TT)	Land Management	Watershed processes monitoring, modeling and management
AN Ping (TT)	Plant Eco-Physiology	Physiological responses and relative mechanisms of plants and plant ecophysiology in dry lands.
Toshiyoshi ICHINOHE (SN)	Livestock Feeding	Evaluation of ruminants production system
Koji INOSAKO(TT)	Soil and Water Management	Conservation, restoration and sustainable use of soil and water environment
Yasuomi IBARAKI (YG)	Bio-environmental Control Engineering	Environmental control in plant production
Hidehiko OGATA (TT)	Irrigation and Drainage Facilities Engineering	Evaluation of construction materials and structural performance of irrigation and drainage structures
Reiji KIMURA (TT)	Boundary Layer Meteorology	Heat and water balance in arid lands
Toshio SATO (SN)	Environmental Sanitary Engineering	Development of new technology and functional materials for wastewater treatment systems and control of environmental water quality
Katsuyuki SHIMIZU (TT)	Water Use and Management	Monitoring and assessment of irrigation water management
Hisashi TSUJIMOTO (TT)	Molecular Breeding	Breeding of drought tolerant crop lines by gene and chromosome engineering
Atsushi TSUNEKAWA (TT)	Conservation Informatics	Monitoring and modeling of plant production and ecosystem change in drylands
Mitsuru TSUBO (TT)	Climate Risk Management	Dryland agrometeorology and climate-smart agriculture
Haruyuki FUJIMAKI (TT)	Soil Conservation	Development of methods for preventing salt accumulation and erosion and remediation of degraded soils
Tsugiyuki MASUNAGA (SN)	Pedosphere Ecological Engineering	Control and use of soil functions of environmental protection-restoration and plant production
Satoshi YAMADA (TT)	Plant Nutrition	Mechanisms of Response to Stresses of Plants in Arid Regions
Norikazu YAMANAKA (TT)	Revegetation in Arid Land	Ecological studies on woody plants in arid lands
Sadahiro YAMAMOTO (TT)	Environmental Soil Science	Conservation of soil environment and sustainable use of farmland in arid regions